
赤潮情報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
 平成30年5月30日

八代海赤潮情報No.1

[1] 5月29日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点において、有害種による着色は確認されませんでした。通常検鏡でシャットネラ属が戸馳島東沖（熊本県海域）で1.3細胞/mL確認されました。

また、0~10m層の柱状採水した海水1Lを1000倍に濃縮して検鏡したところ、シャットネラ属が5ヶ所で最高0.010細胞/mL確認されました。

同じく濃縮検鏡によりコクロデニウム ポリクリコイデスが姫戸ブイ（熊本県海域）で0.004細胞/mL確認されました。

珪藻類については、北部で多く、他は少ない状況でした。

(2) 海況

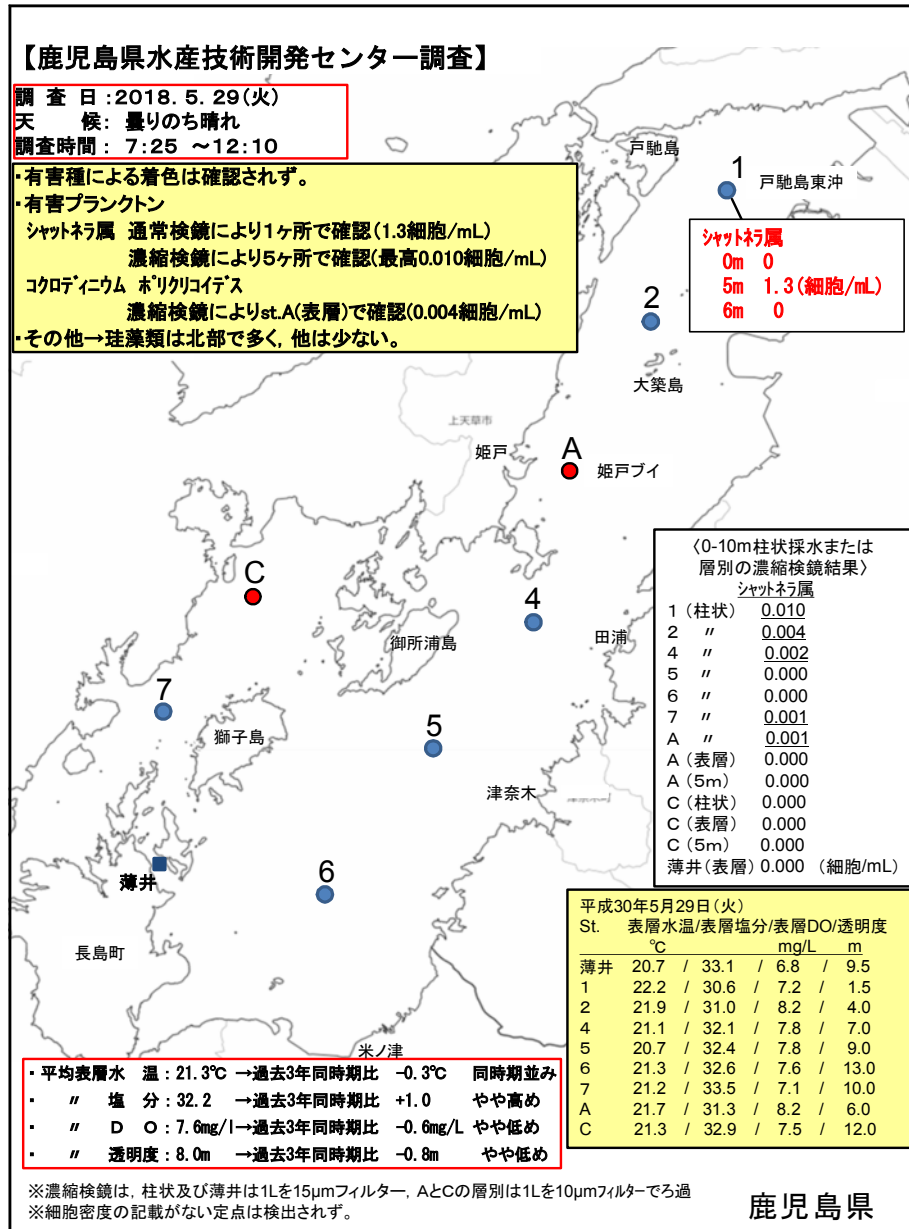
表層水温は八代海全域で20.7~22.2℃で過去3年同時期より-0.3℃で同時期並み、塩分は30.6~33.5でやや高め、透明度は1.5~13.0mでやや低めとなっています。

表層水温：平均 21.3℃ (21.6℃)

表層塩分：平均 32.2 (31.2)

透明度：平均 8.0m (8.8m)

※()は過去3年同時期調査における平均値



[2] 今後の赤潮発生の予想
 今回の調査で、有害種であるシャットネラ属及びコクロデニウム ポリクリコイデスが確認されました。

現在、競合種である珪藻類は北部のみ多く、他は少ない状況となっており、今後の状況によっては有害種が増殖する可能性がありますので注意が必要です。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的な検鏡等を継続し、十分な監視をお願いします。

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashi/o/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashi/newHP/index.html>

